

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 5 月 17 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県福岡市
住 所 博多区祇園町 2-1 シティ 17 ビル 4 階
株式会社 ホリデン生コン
氏 名 代表取締役 田村 一誠
電話番号 092-409-6084

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 ホリデン生コン 新宮工場		
事業場の所在地	福岡県糟屋郡新宮町下府2丁目4-12		
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	E. 製造業		
② 事業の規模	348,000 千円		
③ 従業員数	8 人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産廃処理(汚泥) 荷卸し — 残コン発生 — 養生 — 産廃処理(コンクリートがら) 洗車 — 脱水機 — 産廃処理(汚泥) 上澄水		
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 代表取締役 — 工場長 — 副工場長 — 製造係 (統括責任者) 出荷係 試験係 事務係			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	排出量	1,210 t	1,098 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	排出量	4.2 t	9.1 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排出量	0.2 t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	排出量	1,200 t	900 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	排出量	4.0 t	5.0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排出量	0.1 t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類 : コンクリートくず、汚泥 取組 : 工場敷地内に仕切りを作り、分別保管を行う
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類 : コンクリートくず、汚泥 取組 : 工場敷地内に仕切りを作り、分別保管を行う

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定無し。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定無し。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定無し。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状	【前年度 (5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	全 処 理 委 託 量	1,210 t	1,098.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,210 t	1,098.01 t
	再生利用業者への処理委託量	1,210 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	全 処 理 委 託 量	4.225 t	9.075 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	4.225 t	9.075 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・優良認定処理業者への処理委託を優先に行う。 ・産業廃棄物を処理する際は、再生処理を行う業者を選定する。 ・残コンの発生量を抑える。 ・脱水機で脱水し、汚泥として処分する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	全 処 理 委 託 量	1,200 t	900 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,200 t	900 t
	再生利用業者への処理委託量	1,200 t	900 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	木くず
	全 処 理 委 託 量	4.0 t	5.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	4.0 t	5.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・前年度と同様に、有料認定処理業者への処理委託を優先に行う。 ・産業廃棄物を処理する際は、再生処理を行う業者を選定する。 ・工事現場との連絡を密に行い、残コンの発生量を抑える。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

①現状	【前年度 (5 年度) 実績】			
	産業廃棄物の種類		紙くず	
	全 処 理 委 託 量	0.15	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0	t	t
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	0.15	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0	t	t
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		紙くず	
	全 処 理 委 託 量	0.1	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0	t	t
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	0.0	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0	t	t
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状	【前年度 (5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		